

# 北九州市の 環境ビフォア→アフター

Before → After



Kitakyushu



©ていたん&ブラックていたん北九州市

北九州市  
Kitakyushu

# 物語を紡ぐ



北九州市長 武内 和久



北九州市という街は、「物語」にあふれた街です。たとえば、「五つの個性の違う街が、世界でも例を見ない対等合併を実現し、その多様性を謳歌しています」や「鉄の街として栄えながら、衰退と公害の苦難に遭ったけれども、それら乗り越えて、環境先進都市として生まれ変わったのです」など、街全体にいろいろな「物語」が埋まっています。

このたび、市制60周年を記念して、北九州市の歴史の中で特に環境分野において紡がれてきた「物語」を、関係者の皆さんと掘り起して『北九州市の環境ビフォーアフター』としてとりまとめました。これまで北九州市と共に歩んでこられた市民の皆さんとこの「物語」を共有し、また、未来を担う世代に語り継いでいきたいと思っています。

この『北九州市の環境ビフォーアフター』では、「物語」の中に北九州市の魅力も盛り込んでいます。住みやすさや自然の豊かさなどの面での魅力はもとより、人のつながりや優しさや熱さ、率直で裏表のない人柄など市民力に基づく魅力、さらには五市合併に伴いさまざまな文化を受け入れてきた包容力や多様性など、多面的な魅力に溢れています。

本書をご覧になった皆様が、これまでの北九州市の歴史や取り組みにいま一度触れ、この街が体現したこと、さらには「一歩先の世界観」を感じていただければ幸いです。

1964年 第一回北九州市環境衛生大会©北九州市

## ごみ適正処理



1960年代



## 産業の発展と公害の深刻化

1980年 KITA設立

## 環境国際協力開始



## 公害の克服 1987年「星空の街」選定

# 市民力を磨いて



北九州市環境審議会会長 浅野 直人



深刻な公害の克服も、全国に先駆けて大きな成果をあげてきている環境国際協力も、市民の力・理解と産学官の協力で、着実に実現させてきたのが北九州市のこれまでの歩みでした。それらの経験をもとに平成16(2004)年には「世界の環境首都」をめざすグランド・デザインづくりが行われ、着実にプログラムが進められた結果、地域での環境への取り組みを推進できる社会基盤のハードおよびソフト両面が整いました。

その成果は、国内外の機関による表彰や国の未来都市など数多くの選定の事実が示しています。特にPCB処理施設を全国で始めて受け入れ、また、東日本大震災のがれきり処理を受け入れることができたのも、市民の深い理解があつてのことでした。

こうして歩みを振り返ってみると、市民の力や理解と産学官の協力がとが見事にこれらの歩みを支えてきたことがわかります。

現在および将来の国民一人ひとりの生活の質・幸福度・ウェルビーイングの向上や、自然の再興(ネイチャーポジティブ)は、国の新たな環境基本計画がめざすものです。よくよく見渡せば、北九州の市域は自然に恵まれています。ですから、うれしいことに、北九州市は、市民の力で、すでにこの目標を確実に実現しつつあることがわかります。

## マスコットキャラクター紹介

### 北九州市環境 マスコットキャラクター ていたん & ブラックていたん

ふたりは令和4(2022)年、北九州市の「カーボンニュートラル広報大使」に任命されました!

#### ほく、ていたん!

7月7日生まれの子。のんびり屋で、正義感強いよ。エコ活動は得意だけど、走るの苦手。小倉発祥の焼うどんが大好き! いつも首に北九州市の花ひまわりのワンポイント付き緑色のバンダナを巻いてるよ。よろしくね!



ていたん



ブラックていたん

©ていたん&ブラックていたん,北九州市

#### ポク、ブラックていたん!

ていたんと同じ年で、10月1日生まれの子。ちょっとワガママって言われる。たまに、くもんにまちがわれる。得意技は足じゃんけん! 苦手なのは後片付け。ブラックコーヒーが大好きで、紫色のバンダナがお気に入りさ。